



日本ボーイスカウト福島連盟郡山第1団 ボーイスカウト隊 活動報告 2013

-福島民友新聞に掲載されました-

2012.11.22



世界各地に
広がる活動

ボーイスカウト



さまざまなロープの結び方を競い合い、楽しみながら学ぶ隊員たち

目的は？ ↓ 人間性や社会性を磨く
活動は？ ↓ キャンプやボランティア

県内では、5ブロックに決める。在籍の長い隊員が28団があり、幼稚園児から新入隊員などの指導係と高校生までが活動している。班内での信頼関係を築く。ピーパー(幼稚園)カ、いいていく。

ボーイスカウト福島連盟(小学6年~中学2年)ベの郡山第1団ボーイスカウトは「ロープ結び」を実習、「人命救助」や「次に使いやすいようにまとめる」ための結び方などをいかに早く結べるか競争した。

基礎訓練にはこのほか、テントの設営や食事作りなど、同日のキャンプは今年最後の「キャンプ技能」、ハ

青少年の健全な育成を目指して世界各地に組織されている「ボーイスカウト」。キャンプなどの野外活動やボランティア活動を通し、子どもたちが人間性や社会性を磨きながら成長する。県内で活動するボーイスカウトの子どもたちは生き生きと輝き、自信にあふれた表情をみせている。

猪苗代にあすから
全国の隊員集まる

ボーイスカウト日本連盟は23~25日、猪苗代町の国立磐梯青少年交流の家で、全国各地のボーイスカウトからバンチャー1隊員が集う第19回全国スカウトフォーラムを開く。県内からも各ブロックから8人の隊員が参加。「よりよい世界を創ろう」をテーマに、活動を通じて自然災害や平和にどのように貢献していくかを考える。県内各地の見学もする。

イキング時に地図やコンパスを見ながら「ハイキング技能」がある。各投能も4段階にレベル分けされ、クラスによってユニホームのワッペンの色、機様が違ふ。

キャンプに参加した次長は「中一年は、震災直後に断水で入浴できないときがあったけど、ボーイスカウトの経験があったからつらくなかったし、慌てず落ち着いて対応することができた」と話した。

2012.11.22 福島民友新聞掲載
2012年11月10日~11日に開催された「ボーイスカウト2012年テント納め」の様子が、福島民友新聞に掲載(2012年11月22日)されましたのでご紹介します。